

SSI FW 春 実施報告

1-2 担任 山崎 瀬音

1 目的

「ブナ林とその周囲の環境や人々の生活」を科学的な視点で調査し、考察したことを共有する中で、中山間地について理解をより深め、課題発見につなげる。

2 概要

- ① 10名程度のグループごとにインストラクターとともに、林内にて自然観察を行う。直に触れることにより、自然について体験的に学習する。
- ② それぞれに課題をもち、科学的な観点で調査を行う。
- ③ 調査結果を相互に共有し、視点を明確にしておき、事後の授業での学習につなげる。

3 期日：令和5年5月19日(金)

4 場所：なべくら高原 森の家 長野県飯山市照岡 1571-15 Tel:0269-69-2888

5 報告レポート



午前中は、10人1班の合計7班に分かれ、ブナ林研修をした。1班に1人インストラクターの方についてもらい、ブナ林・雑木林に育つ植物の説明を主にしてもらった。雨の中であったが、生徒たちは、工夫して話を聞きながらメモを取ったり、植物の写真を撮ったりしていた。

林について学ぶことは、初めてのことが多かったと思うが、一つ一つの説明を集中して聞き、自らの知識にしていこうという姿勢が



みられた。また、秋にももう一度同じ場所へ行って、比較をするということを意識して、植物の記録を写真でとっていた。

午後は、アロマキャンドル・苔テラリウム・草木染め・炭火パン作りの4グループに分かれてアクティビティを行った。各グループ内で3~4人組を作って、作業を行っていた。午前中とは変わって、自ら体験して、何かを作るといったアクティビティだったので、生徒たちは積極的に活動することができていた。まだ入学して1か月ほどと短い時期であったが、同じ活動を一緒にしていくことにより、仲が深まっていた。



全体を通して、班別の行動が主だったこともあり、普通科全体で仲を深めることができていた。また、FWの基本的なことを学んだり、自然の中での記録や学習の仕方も知ることができたりした。今後の課題研究や学習にいかすことができるとよいと思う。

